

J A U W

会員倍加運動
一人が一人を勧誘すれば、会員が倍になります

東京都渋谷区千駄谷一ノ五六二
津田英語会構内
社団法人 大学婦人協会
電(40)四四二〇(呼)
編輯 野田 静子
発行日 昭和33年4月3日
(第三二号)

昭和三十二年

国内奨学金授与式

於国際文化会館



去る一月十五日、国内奨学金授与式が、国際文化会館で行われ、授賞者十五名、内出席者十三名(氏名は二頁参照)元会長粕谷氏より御祝詞とこの会発足当時の追想談や激励のお言葉など頂いた。この日幸い、来賓中の米、A.A.U.W会員の十数名の方々も出席せられ、団長ミセス・ヘンリー・ニスリーのお話があり、また山崎会長からも年々奨学金がお世話になつておられるお話を申し上げるなど日米協会のおよび交歓の日ともなった。

続いて研究学友の方々に研究の概要を発表して頂いた。こうして各方面への進展を何うにつけても、全国支部会員の並々な御努力によつて、本日の授与式の運びとなり有望な若い研究者と学生の方々に向学への灯にささやかながら油を注ぐ事が出来たことは本当に有意義なことである。この方々が将来日本の婦人地位向上の為に御貢献下さる事を信じJ.A.U.Wの最もよき活動の一つが本日果された事を心から喜しく思つた。(吉田記)

本年は、研究生十二名、学生二十八名、總計四十名の多数が支部より推薦応募された。殊に研究生は昨年度の倍にも及び、委員会としては、いづれとも優秀をつけ難

社団法人となりて

会長 山崎 文子

J.A.U.Wがこの度社団法人の許可を得て、再出発の前途に立ちました。今日の喜びは創立されて十年の間、先輩の先生方の正しい御指導によることは勿論ですが、会員一人一人の熱心な協力の賜であります。過日、文部省で書類審査の係官が、このわずかな資源でよくもこれだけの仕事が出来たと不思議がられました。全く今日までこの資金の乏しさを、会員一同の努力と熱意で補つて来たことを省みて無量な思いでございませぬ。

しかし、こうした無理な努力も、大きく伸びるためには、反省しなければならぬと思ひます。世界の平和と幸福のために、今社会の凡ゆるる方面に婦人の手を求めて居ります。しかもその要望の切実である時、私たち大学婦人協会に課せられた使命は、日々に重大さを増してをります。この時に当り、新しく法人化されて大きな組織の下に歩み出すことは、この上もないよきと緊張を感じます。どうか会員の皆様、今新しく立たされた私たちの立場と任務をみつめて、再出発に熱と力をお寄せ下さいませう、お願いいたします。

なほ、社団法人認可の運びの際には、定款委員の並々な御苦心と、時間的犠牲に感謝すると同時に、若も正月も返上して、会計面の整理に当られ法人規定に依り的確な会計を打ち建て下さつた会計のお二方と事務の方にお礼を申し上げます。定期総会、毎年、花の頃に集り、總會が近づきました。数々の御相談をひかえて、皆様の御出席をお待ち申上げて居ります。新しい出発にふさわしい花と実のある会でありませう、御協力おねがいいたします。

く、一人でも多くとの願いから決定の最後の日まで資金募集に努力した次第である。その結果明治生命、婦人生活社、文芸春秋社、昨年同様の御寄附を賜り尚今後とも引続き御援助頂くことになつた。各支部からも昨年以上の多額の御送金を頂いた。今後はもつと確固たる資源による奨学制度を打ち立てたいものと念願いたす次第である。

(才一奨学 辻きよ記)

新役員候補者氏名

副会長 石森千代 (日本女子大)

会計 大槻高子 (日本女子大)

書記 (未定)

晩餐会

時 四月二十六日午後三時

所 丸の内工業クラブに於て

主催 東京支部

◎地方支部長歓迎懇談会
◎一般会員(会費五〇〇円)

社団法人第一回總會

お知 せ
とき 四月二十七日 午前十時~午後三時
ところ 東京女子大学(中央線荻窪駅下車)

一、会長挨拶 山崎 文子
二、本部役員並に各委員長報告
三、議事

A、年度計画
(イ)実施細則を作る件
(ロ)本年度に於て支部規約を作る件
(ハ)基本金募集の件
(ニ)大学院設置問題について
(ホ)地方支部との連絡について

四、支部提出の議題
五、次回總會の件
六、役員信認投票
八、新旧役員挨拶
九、記念撮影——昼食会(会費百五十円)

一〇、講 演 東京大学総長 茅 誠 司
一一、茶話会(会費五十円)

新しいJ.A.U.Wに望む

社会的役割

お茶の水女子大学長 蠟山政道
大学婦人協会も創立以来十年余りになり、この程社団法人化の段取りにまで成長された由、まことに慶賀の至りに存じます。大学の事業や活動をされ、とくに奨学金や国際交流に尽されたことは顕著なことであります。私共女子大学に關係してあります者はこの点について多くの感謝の念を抱いております。

手に手を取つて

津田塾大学々長 粕谷よし
大学婦人協会が此度社団法人として、今後ますます御発展の才一歩を踏み出されたことを心からお祝い申し上げます。同窓会によつて母校につながる各女子大学卒業の諸婦は、J.A.U.Wによつて、他の大学卒業生と横の繋りや相手をひいては、国際大学婦人連盟と手をとり、国際平和と親善、人類の幸福のために御尽力下さることを切にお願い申し上げます。

教養ある婦人の力

東京女子大学々長 高木貞二
このたび大学婦人協会がその基礎をいよいよ確乎たるものとするため社団法人となられましたこと、心より御慶び申しあげます。国民が道徳的に優れ、高い理想を抱くようになるために、教養ある婦人の力がいかに重要であるかは今さら申すまでもありません。私はこの機会に大学婦人協会が一層の発展を上げられ、その重要な使命を果たされるよう希望して止まなぬものであります。

私たちの誇り

大学婦人協会が社団法人として新しい発展に向おうとしていられることは日本女性の文化のために実に喜ばしく誇らしいことです。どうぞ益々御発展日本女性のため新しい道の開拓に當つていただきたいと存じます。

お知らせ

・總會への提出議案は二十三日までに本部へ御送附のこと
・支部長は、欠席委員の委任状をまとめて御持参のこと
・評議員に提出議案は原稿として当日御持参のこと
・宿泊希望の方は二十日までにお申込みのこと、宿泊所(豊島区目白三ノ三五六七)「うすら荘」

新たな検討

アメリカ大学婦人協会の日本支部を發展的に解消し、新たに日本大学婦人協会として発足をすることを十有餘年、今日更に社団法人としての、より強固たる基礎の上に新発足を見ることになつたのは、当然と言ふに慶賀すべき飛躍で流的、あるいは一般的に処理し



米・英の大学婦人協会 記念式典に出席して

大島清子



昨年は国際大学婦人協会にとり、記念式典に出席して、米・英の大学婦人協会に...

本部事務日誌

- 一月七日 文部省に行き法人許...
一月十五日 国内奨学金授与式が...
一月十七日 文部省に行き先日作...
二月二日 後任役員選考委員会...
三月一日~四日 会長関西に御旅...

国連総会の婦人代表

ドイツ大学婦人協会は一... 九五八年十月九日から十二...

AAUW奨学生決定

AAUWから一九五八/五九年... 山西貞氏...



私の念願 山西貞... 此の度一九五八/五九年米...

アメリカへ行ったら

山本美賀子... この度、AAUWの奨学生とな...



留学生会館の仕事

文部省が、東南アジアの各... 留学生会館の仕事...

国連婦人地位委員会へ

谷野せつ子氏行く... 藤田氏の出席されたのは第三...

国連総会に我が国最初の婦人代表

藤田たき氏を迎えて... 鈴木布美... 国連総会に我が国最初の婦人代表...

国連総会に我が国最初の婦人代表

鈴木布美... 国連総会に我が国最初の婦人代表...